

会報 長事研

長与町立長与小学校内
発行責任者 上戸 健
2015(H27)年3月20日発行

全事研セミナー・評議員会開催

2月13日に神奈川県川崎市の川崎市教育文化会館大ホールで全事研セミナーが、全国から1100余名の事務職員が参加し開催されました。当日は、昨年大雪とは違って、大変穏やかな日和に恵まれました。会場は全国から集まった参加者の熱気に包まれていました。長崎県からは13名の参加者がありました。また、前日の2月12日には同じく川崎市教育文化会館大会議室で全事研評議員会・実務報告会が開催されました。全事研評議員会・実務報告会には、上戸会長 前田副会長が参加しました。

また、長事研では、2月27日長崎市の市民会館で第3回理事会第2回評議員会が開催されました。会では、長事研の本年度活動の総括と来年度に向けて活動の柱や計画について活発に議論が交わされました。特別委員会からは、大会事務局への報告を間近に控えた活動の状況と研究報告の具体的内容について報告がありました。

《全事研セミナー》

開会式は、鳥本安博新全事研会長からの昨年夏に開催された全事研静岡大会が成功裏に終わったことの報告と感謝の言葉で始まり、文部科学省大臣の祝辞（代読）の中では、教育にもとめられるものが大きくなっている今日、「チーム学校」を支える事務職員に期待するところは大きいとの言葉がありました。

セミナーは、次のような内容で開催されました。

・講演Ⅰ：文部科学省行政説明

講師 文科省初中教育局財務課長 池田貴城 氏
H27年度文科省関係予算政府案について

・講演Ⅱ：「学校マネジメントと学校裁量予算制度」

講師 日本大学 准教授 末富 芳 氏

・講演Ⅲ：「これからの教育を実現するための カリキュラムマネジメント」

～事務職員の役割を考える～

講師 岐阜大学教職大学院 准教授 田村知子 氏

・全事研熊本大会報告 大会実行委員長 宮本和明 氏

・全事研活動報告 全事研副会長 阿部貴子 氏

行政説明では、来年度の文教予算案のポイントについて解説がありました。「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」「学びのセーフティネットの構築」の三つの柱に重点をおいた予算であるとの説明がありました。講義Ⅰは学校マネジメントと学校予算との関係から、裁量予算の効果とその影響について、氏の研究成果についてわかりやすく解説していただきました。講義Ⅱは、カリキュラムマネジメントとはどのようなものなのか基本的なことについて、丁寧にお話をしていただきました。そして、それに対する事務職員の関わり方について大きな示唆をいただきました。

全事研活動報告では、事務局、財務部、情報推進部、研究開発部各部の本年度の活動報告がおこなわれました。さらに、今後の全国研究大会について、説明が行われました。また、熊本支部からは、熊本大会のプロモーション映像が流され、熊本大会実行委員長の挨拶がありました。

全事研セミナーの内容について、全事研会報第220号でも紹介される予定ですので、本号は参加者の感想を中心に御紹介します。

<参加者感想>

・文科省の行政説明は、次年度の重点課題がなんなのか、文科省の方針はどこなのか、わかりやすく説明をいただき、大変参考になった。また、講演については、長崎県の現実との乖離を痛感させられた。

・来年度予算について、加配の内容や各プランの説明があり、文字だけでは分からないことを聞いて興味深い行政説明でした。また、講演は、これからの事務職員のあり方を考えさせられる機会となり大変充実した研修会でした。

・行政説明の中で、受け身型一斉授業から課題解決型授業（アクティブラーニング）への転換について強調されたのが印象的でした。今後の教材整備計画を立てる場合にもこのことを念頭に入れて行う必要があると感じました。

・講師の方々の講演は、とても興味深く拝聴することが出来ました。カリキュラムマネジメントについて、基本のお話が聞けてとても参考になりました。

・行政説明の中で、教職員の定数改善やサポートスタッフの配置、コミュニティースクールの充実等いろんな改善が行われていることを実感した。

《全事研評議員会》

議事：平成26年度全事研静岡大会決算報告

平成26年度補正予算案について

平成27年度暫定予算案について

平成27年度全事研熊本大会について

その他

全事研静岡大会の報告では、予定の2,200名を超える2,586名の参加者があり、成功裏に終わることができた

との報告とともに感謝の言葉が大会実行委員長から述べられました。また、予定より多くの参加者があったために、発表支部研究補助金も大幅に増額することが出来た等の決算報告がありました。今夏開催予定の熊本大会に関しては、2200名の参加者を予定した予算書の提案があり、静岡大会の決算報告とともに承認されました。

《長事研第3回理事会第2回評議員会》

本会は、本年度の長事研の活動のまとめとなるものです。今回は、参加者から活発な意見が出され来年度に向けて大変参考になるものでした。

会長挨拶：予定どおり計画は進めてきたが、会員の減少など問題は山積している。来年度の熊本大会の発表を会員増や長事研活動の活性化につなげていきたい。来年度に向けて多くの御意見をいただきたい。

〈協議事項〉

- ・26年度活動報告について
- ・第15回長事研セミナーの反省
- ・次年度役員体制について
- ・次年度長事研セミナー、総会のあり方について
- ・次年度事業報告について
- ・特別委員会報告について
- ・その他

○活動報告：特別委員会での研究活動やスクールビジネスとの関わりなど今までと違った活動が出来たのではないだろうか。しかし、それを会員増へと結び付けることが出来なかったことが大変残念だ。来年度は、熊本大会に向けて長事研全体で取り組んで行きたい。そして、それが会員増へとつながればと考えている。

○長事研セミナーの反省：アンケート結果は、期日、開催日程については、大多数回答者が適当と回答いただきました。しかし、開催場所については、半数の回答者が県南地区を望んでいるものの、県北、県央地区を希望する人も4割程度いらっしゃいます。一方、研究報告、講演は大多数の方々から興味深かったとの回答をいただきました。川上先生の講演は、学校現場を熟知された先生のお話が大変興味深かったとの御意見が多かったようです。

研究報告について（記述式回答より抜粋）

- ・最終的には強い意味でその未来像を打ち出してほしい。
- ・事務の未来像や、時代に対応した事務のあり方を考えていかなければと感じました。
- ・学校事務の未来像が描ける方向にもっていただけたいと思います。
- ・未来への展望のあるランドデザインが構築されることを願っています。
- ・長事研版ランドデザインを楽しみにしています。
- ・長崎県独自のランドデザインができればいいと思います。ただ、アンケート結果にもあった様に組織拡大を図り支部での研究「(検討)」が十分にでき、全体の意見が集約できるようになればいいと思います。
- ・何を言いたいのかよくわからない。ランドデザインは

長事研の方針ですか。いつ決定したのですか

○特別委員会から

研究報告書が概ね完成しました。テーマは「長崎県の学校事務の未来像」～未来につながる長崎県の学校事務の構築に向けて～です。内容には、長崎研版ランドデザインの提案も含まれています。県内で多くの議論をしていただきたいと思います。

○熊本大会にむけて

特別委員会から、大会当日の分科会での議論を活発化するためにグループ討議を行う予定であるとの発表がありました。また、そのグループ討議の中で各グループの取りまとめのお世話をいただけるスタッフを募集したいとの提案がありました。熊本大会を長事研の総力を挙げてバックアップをしたいとの考えで、会員の皆様にスタッフとなってくださる方の募集を行います。詳細については、先般、お知らせを差し上げましたが、多くの方々の応募をお待ちしています。

○次年度活動について

セミナーの開催については、6月26日（金）長崎市で開催することを前提に準備を始めることで確認されました。内容については、熊本大会のプレ発表という位置づけで臨むことが特別委員会より提案があり了承されました。また、熊本大会での研究報告書に対する議論を深めるために、セミナーを午前中から開会することも検討したいとの考えが明らかにされました。総会については、本年度同様セミナー当日の12時からの開催を予定しています。

また、熊本大会以降、今回の特別委員会の研究結果をどのように活かしていくのかという話し合いがもたれました。参加の理事、評議員に方々からは、長事研版ランドデザインについて、長事研として取り組んで行くいい時期に来ているのではないかという意見が、多くの参加者から出されました。今後長事研の活動方針を検討する中で、今回の理事会評議員会の意見を参考にさせていただくこととなります。今後長事研セミナー、総会等で多くの御意見をいただきながら進めていきます。



〈会報連絡先〉

長崎市立池島小学校：吉野 一

TEL 0959-26-0040 FAX 0959-26-0450